

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育者として必要な国際教養を身につける ・教育者としての教育観、職業観を身につける ・高等学校教諭一種免許状(社会)の取得に向けた情報収集ができる ・「地理学概論」などの科目を通して、地歴教育の対象領域の一端を理解できる
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・地理教師としての適性を自己判断し、計画的な学習を計画できる ・地理教師になるための意欲を確認し、教師になることを決意できる ・「日本史」「自然地理学Ⅰ」「現代アジア社会論」などの科目をとおして、地歴教育の専門領域の内容を理解できる ・「日本国憲法」を通じて、日本社会の法制度的な枠組みが理解できる
2年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「人文地理学」「自然地理学Ⅱ」などの科目をとおして、地理学の基本的な考え方・手法について修得する ・「外国史Ⅰ」「日本通交・通商史」などの科目をとおして、世界史の中での日本史の位置づけと日本史に固有な事項を峻別に比較検討ができる ・各種のフィールドワーク系の科目を受講し、現場での情報収集や分析の方法について理解できる ・地図資料・データを収集・分析し、教材としての地図の利用ができる ・歴史の空間的広がり、地域の歴史的深みについて理解できる
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代アフリカ社会論」「グローバル化と地域」などの科目を通じて、グローバリゼーションと言う観点から地域を理解することができる ・フィールドワークのより実践的な手法について学び、自らの教材開発に活かすことができる ・ボランティア活動などの社会活動に参画し、教育者としての社会参画について検討することができる
3年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会科教育法Ⅰ(社会・地歴分野)」において、学習指導要領についての基本的な事柄を理解することができる ・「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」などの科目をとおして、文化史・社会史的な観点から日本史を理解できる ・「動態地誌学」において、地誌学的な考え方・手法を習得する
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会科教育法Ⅲ(地歴)」において、実践的な指導技術を習得することができる ・積極的にフィールドワークを行い、その技能や手法について修得する
4年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の構想・検討作業をとおして、地理教育についての課題を設定し、検討することができる ・資料やデータの判読や解析において、コンピューターの利用ができる ・教育実習をとおして、地理の実践的な指導能力を習得、発揮できる
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文を完成することによって、地理教育についての方法的検討を通じて自らの課題に結論を導き出すことができる ・教育実習を振り返り、実践的な教育力について理解を深めるとともに、教育者としての自己の強みと弱点を客観的に評価できる ・教育者として社会に出ていくために身につけておくべきことについて反省的に検討し、教育者としての万全の準備を整えることができる